加藤 誠 Makoto P. KATO

准教授 Associate Professor

博士 (Information Studies) Ph.D.

Keywords: 情報検索，Web マイニング，データ検索

Contact: mpkato@slis.tsukuba.ac.jp

Graduate School of Library, Information and Media Studies

筑波大学 University of Tsukuba

研究概要

ウェブ上には，アンケート調査やセンサーなどによって得られた，多くの数量データが公開されています．これらのデータからは根拠のある客観的な知識を得ることができますが，そのためには，人間が時間をかけて分析し結果を解釈しなければなりません．したがって，現状では公開されている数量データを誰もが気軽に活用することはできません．

そこで私たちは，数量データを自動的に分析・解釈して，データに基づく知識を獲得すると共に，得られた知識に対する容易なアクセスを実現する検索システムについて研究を行なっています．例えば，「筑波大学の研究は最近盛り上がってきている？」というような質問に対して，各大学や省庁が公開している統計情報の中から回答となりそうなデータを検索してきて，グラフなどで可視化し，データから読み取れることを言語化します．最終的には，誰もがデータに基づく知識によって意思決定を行い，ウェブ上の不正確・不確かな情報に惑わされないような社会を目指しています．

www.slis.tsukuba.ac.jp

論文

1. Makoto P. Kato, Tomohiro Manabe, Sumio Fujita, Akiomi Nishida, Takehiro Yamamoto: Challenges of Multileaved Comparison in Practice: Lessons from NTCIR-13 OpenLiveQ Task. In Proc. of the 27th ACM International Conference on Information and Knowledge Management (CIKM 2018), pp.1515-1518, 2018.

2. Bei Liu, Jianlong Fu, Makoto P. Kato, Masatoshi Yoshikawa: Beyond Narrative Description: Generating Poetry from Images by Multi-Adversarial Training. In Proc. of the 26th ACM international conference on Multimedia (MM 2018), pp. 783-791, 2018.

3. Wiradee Imrattanatrai, Makoto P. Kato, Katsumi Tanaka: Entity Search by Leveraging Attributive Terms in Sentential Queries over RDF Data. In Proc. of IEEE/WIC/ACM International Conference on Web Intelligence (WI 2017), pp. 769-776, 2017.

4. Shinryo Uchida, Takehiro Yamamoto, Makoto P Kato, Hiroaki Ohshima, Katsumi Tanaka: Entity Ranking by Learning and Inferring Pairwise Preferences from User Reviews. In Proc. of the 13th Asia Information Retrieval Symposium (AIRS 2017), pp. 141-153, 2017.

5. Tomohiro Manabe, Akiomi Nishida, Makoto P. Kato, Takehiro Yamamoto, Sumio Fujita: A Comparative Live Evaluation of Multileaving Methods on a Commercial cQA Search. In Proc. of the 40th Annual International ACM SIGIR Conference on Research and Development in Information Retrieval (SIGIR 2017), pp. 949-952, 2017.

社会貢献活動

実サービスにおける検索システムの評価にも関心があり，ヤフー株式会社との共同研究を通して，A/B テストに代わる次世代のオンライン評価方式である「インターリービング」の研究と普及を行なっています．2017 年 4 月〜6 月と 2018 年 9 月〜11 月には，同社の Yahoo! 知恵袋にてインターリービングの実証実験を行いました．また，これらの結果に基づいて，国際会議にてヤフー株式会社と共同で論文発表を行なっています．

メッセージ

研究はとても楽しいものです．研究はスポーツに似ていて，様々な種目（分野・方法論）があってそこに得意・不得意があったり，大会に出場して記録（論文発表）を残して達成感を得たり，うまくなって楽しむためには基礎練習（授業や文献調査）が大事ですし，得られた体力（問題発見・解決力）は生涯にわたって役立ちます．皆さんとは，（良い意味で）部活動みたいに楽しく研究ができたらいいなと思っていますし，そうできるようにしたいと思っています．

関連情報サイト

1) https://www.mpkato.net/